

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットしょうなん

BOSAI Never Ending Tension~終わりなき緊張感

向日葵はわが街のシンボル



2024 (令和6) 年10月3日 / 臨時号外号

あなたとご家族の生命を守る知見を備えましょう

風早北部地域ふるさと協議会

しっかり

火山噴火後の対策も考えて！

～降灰による社会生活の変化は大きい～

御嶽山噴火事故から10年を迎えました。日本の山岳自然災害として最悪の犠牲者を記録した本件は、多くの登山客が尊い命を落としました。一方、大規模な噴火による降灰は、都市機能、特に交通機能を完膚なきまでにマヒさせます。これが長期に及ぶことで、私たちの社会生活には、大規模地震や風水害による影響を遥かに超える未曾有の負の影響を及ぼすともいわれています。柏市の地域防災計画には、この火山噴火対策が十分に網羅されているとはいえず、その見直しが必要です。



実は、昨年度までに本件につき私ども風早北部地域ふるさと協議会から市防災安全課に対しては、「首都圏に火山灰が長期広範囲で降灰した際の対策はどうか？」との内容で防災計画の改善を求めています。その後市からの具体的動きは特に聞こえてきません。



降灰での交通至便の機能マヒは物流に影響し、確実に現在の社会生活水準の維持に支障をきたします。飲食や日常生活に欠かせない物資が何処でも不足し、インフラのダメージはライフライン供給にも確実に影響します。

火山噴火がない今だからこそ
考えておくべき課題です。

大規模噴火が起きてからでは遅すぎます。即座に、柏市地域防災計画の見直しを求めます。先ずは、本件への太田市長の見解は如何に？